

毛利文香 デビュー10周年 リサイタル・シリーズ

Fumika Mohri 10th Anniversary Recital Series

2025 **10/10** (金) 開演 19:00
(開場 18:30)

Friday, October 10, 2025 at 7 p.m. Hakuju Hall, Tokyo

HAKUJU HALL

第 2 回

巨匠と共演。

多彩なるデュオ・リサイタル

共演

アブデル・ラーマン・エル＝バシャ
(ピアノ)

Abdel Rahman El Bacha, Piano

Program

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K. 304

Mozart : Violin Sonata in E minor K. 304

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第10番 ト長調 op. 96

Beethoven : Violin Sonata No. 10 in G major op. 96

シューマン：ヴァイオリン・ソナタ第1番 イ短調 op. 105

Schumann : Violin Sonata No. 1 in A minor op. 105

シューベルト：ヴァイオリンとピアノのための幻想曲

ハ長調 D934

Schubert : Fantasy for Violin and Piano in C major D934

Ticket

全席指定：5,000円(税込)

U25(25歳以下)：3,000円(税込)

U25チケットお申し込み方法

- * メール (novellette.info@gmail.com) にてお申し込み
- * 座席はお選びいただけません。
- * 当日チケットとお引き換えします。学生証または、年齢が確認できる証明書をご持参ください。

■ チケットお申込み

Hakuju Hall チケットセンター

オンラインチケット予約

<https://hakujuhall.jp>

ローソンチケット <https://1-tike.com/>

イープラス <https://eplus.jp/>

主催、電話予約：合同会社ノヴェレッテ

<https://www.novellette-arts.com/> TEL : 050-6878-5760 (月～土 10:00～18:00)

協賛：Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所

協力：ナクソス・ジャパン株式会社

デビュー10周年に寄せて

2016年3月にデビューリサイタルを行ってから、早くも10年が経とうとしています。留学先のドイツと日本を行ったり来たりしながら過ごしたこの約10年の間、私が最も大きな影響を受けたのは、なんと言ってもドイツでの師匠であるミハエラ・マルティン先生です。また、ヨーロッパで出会った個性豊かな音楽家たちから得た様々なインスピレーションも確実に私の音楽の栄養素となっており、そんな音楽家の一人が、コンクールをきっかけにベルギーにてご縁が繋がったピアニストのアブデル・ラーマン・エル＝バシャさんです。大事な節目に、尊敬する二人の音楽家をお迎えできることを本当に幸せに思います。さらに、いつか必ず挑戦してみたいと思っていたイザイの無伴奏ソナタ全曲演奏会も加わって、このリサイタルシリーズは、これからの10年、そして長く続いていく音楽人生に向けた私自身の覚悟でもあります。たくさんの方々に聴いていただけますことを心より願っております。

毛利 文香

毛利 文香 (ヴァイオリン) Fumika Mohri, Violin

桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマコース、洗足学園音楽大学アンサンブル・アカデミー修了。慶應義塾大学文学部卒業。これまでに田尻かをり、水野佐知香、原田幸一郎、ミハエラ・マルティンの各氏に師事。ドイツのクロンベルク・アカデミーを経て、ケルン音楽大学を最高点で修了。2012年第8回ソウル国際音楽コンクールで日本人として初めて、最年少で優勝。2015年パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール第2位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第6位入賞。2019年モントリオール国際音楽コンクール第3位。横浜文化賞文化・芸術奨励賞、川崎市アゼリア輝賞、青山音楽賞新人賞、ホテルオークラ音楽賞ほか受賞多数。読売日響、東京響、東京フィル、神奈川フィル、大阪フィル、クレメラータ・バルティカ、ヨーロッパ室内管など著名なオーケストラと数多く共演。武生国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭などにも出演している。トリオ・リズル(弦楽三重奏)、エール弦楽四重奏団、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団のメンバーとしても活躍。楽器は日本音楽財団より、1717年製のストラディヴァリウス「サセルノ」を貸与されている。

第1回共演者

ミハエラ・マルティン(ヴァイオリン)

Mihaela Martin, Violin

ルーマニア生まれ。S. ゲオルギューへの師事を通じて、オイストラフ、エネスクの系譜を引き継ぐヴァイオリニストである。19歳でチャイコフスキー国際コンクール第2位受賞、のちにインディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。マズア、アーノンクール、デュトワ、N. ヤルヴィらの指揮でBBC響、ロイヤル・フィル、モントリオール響、グヴァントハウス管などと共演。世界各地の室内楽音楽祭にも参加。ミケランジェロ弦楽四重奏団のメンバー。クロンベルク・アカデミー、バレンボイム＝サイド・アカデミーで教鞭を執る。

第2回共演者

アブデル・ラーマン・エル＝バシャ (ピアノ)

Abdel Rahman El Bacha, Piano

ペイルート生まれ。10歳でオーケストラと初共演し、1973年にアラウに将来を嘱望されてパリ国立音楽院に入学。78年にエリザベート王妃国際コンクールに優勝した。これまでアムステルダム・コンセルトヘボウなどの主要ホールに出演し、ベルリン・フィルやパリ管、N響などと共演。作曲家としても活躍している。レコーディングにも精力的で、バッハからプロコフィエフまでそのレパートリーは幅広く、国際的な受賞も多い。1998年にフランス芸術文化勲章シュヴァリエを、2019年にはベルギーのルーヴェン・カトリック大学から名誉博士号を授与された。

【シリーズ全内容】

第1回 2025年6月10日(火)19時開演

「師と共演。世界を広げるヴァイオリン二重奏」

共演：ミハエラ・マルティン(ヴァイオリン)

ルクレール：2つのヴァイオリンのためのソナタ 短調 op. 3-5
バツェヴィチ：2つのヴァイオリンのための組曲
プロコフィエフ：2つのヴァイオリンのためのソナタ 長調 op. 56
イザイ：2つのヴァイオリンのためのソナタ イ短調

第2回 2025年10月10日(金)19時開演

「巨匠と共演。多彩なるデュオ・リサイタル」

共演：アブデル・ラーマン・エル＝バシャ(ピアノ)

モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ 短調 K. 304
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第10番 長調 op. 96
シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 op. 105
シュペルト：幻想曲 長調 D 934 op. 159

第3回 2026年3月25日(水)19時開演

「無伴奏の挑戦。イザイのソナタ全6曲」

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ op. 27 全6曲

Joseph Bologne,
Chevalier de
SAINT-GEORGES
Violin Concertos
Opp. 2 and 7

Fumika Mohri, Violin
Czech Chamber
Philharmonic
Orchestra Pardubice
Michael Halász



毛利文香 | サン＝ジョルジュ：ヴァイオリン協奏曲集 第3集

好評発売中

ジョゼフ・ボローニュ・シュヴァリエ・ド・サン＝ジョルジュ
ヴァイオリン協奏曲

ト長調 Op.2-1、ニ長調 Op.2-2

ヴァイオリン協奏曲

イ長調 Op.7-1、変ロ長調 Op.7-2

毛利 文香(ヴァイオリン)

チェコ室内管弦楽団バルドビツェ／ミハエル・ハラス指揮

録音：2022年3月21日-23日 バルドビツェ(チェコ) The House of Music
NYCX-10403(日本語解説付) 2,200円(税込)
8.574452(輸入盤・オープン価格)



カリブ海のグアドループ島で生まれたサン＝ジョルジュ。馬術と剣術の達人にして優れたヴァイオリニスト&作曲家としてフランスを席巻し「黒い肌を持つモーツァルト(Le Mozart Noir)」と呼ばれました。近年は伝記映画「シュヴァリエ」などで人気再燃。そのヴァイオリン協奏曲はモーツァルトを思わせる華麗で魅力的な楽想に満ちています。毛利はすべてのカデンツァを自作、伸びやかな演奏によって作品の真価を伝えます。



Photo:Shoo Kim